

- ◆企画名 今月のテーマ本
日 程 平成 26 年 5 月 1 日 (木) ～7 月 31 日 (木)
場 所 関西大学総合図書館 2 階開架閲覧室
参加者数 6 名 (ピア・サポータ)
目 的

- 図書館で寝る、スマホを触る時間を、本を読む時間にしてもらう。
- さまざまな種類の本を「読む」「知る」きっかけを提供し、図書館利用者の興味や関心を広げる。
- KU コアラという団体を（新入生を中心に）知ってもらう。

内 容

- 本企画は月ごとにテーマを設定し、そのテーマに沿った本を展示するものである。
- 展示内容
「5 月：料理 6 月：歴史 7 月：宇宙」と 3 カ月を通しての「勉強方法」というテーマを設定し、毎月 9 冊（月ごとのテーマ 6 冊と勉強方法に関する本 3 冊）を展示する。展示する際には「どんな内容の本か」「どこがオススメか」などを書いたポップを設置する。

効 果

- サイズの大きな本、分厚い本など一見とっつきにくそうな本でも、多くの本が毎月借りられていた。
- KU コアラメンバーの半分以上が搬入、搬出、飾り作り等何かしらの形で企画に参加したため、KU コアラ内の活動の活発化につながった。
- 企画班のメンバーの個性が出る企画だった。テーマは同じでもいろいろな分野の本選びができた。

改 善 点

- 企画責任者と企画班での情報共有が万全でなかった。企画班で企画を進める時は「誰がどの仕事を担当するのか」「どのように企画を進めていくのか」という企画の流れを示したものをメンバーに配るといいのかもしれない。
- 本企画ではアンケートを実施しなかったため、意見感想を集められなかった。今後実施する際、時間的人数的に余裕があればアンケート用紙を作って実施すれば、今後の企画に生かすことができる。
- 展示している本が借りられていることが多かったので、ポップに本の写真（表紙や本の 1 ページ）を載せておくとそこに本がない場合でもどんな本かイメージしやすい。

感 想

今回初めて企画責任者として企画を受け持った。KU コアラで過去に実施したことのない、新しい企画だったので上手く進められるのかかなり不安だったが、無事進めることができたと思う。図書館事務室との連絡、KU コアラ内での連絡、飾り作り、本の入れ替え作業など 1 つの企画に多くの作業があり、また多くの人数が関わっていることがよく分かった。この企画は、毎月本の入れ替えがあり、ポップも毎月作らないといけなかったので時間的に余裕のない時があったが、やりがいがあった。

この企画は図書館に来た人向けの企画だったので、普段図書館にあまり来ない人に向けた企画を考える必要があるなど思った。